

東京大学柏キャンパスへ

THE UNIVERSITY OF TOKYO KASHIWA CAMPUS

ようこそ



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO



知の冒険を目指して

柏キャンパスは、東京大学の21世紀における新たな学問の発展に向けた構想に基づいて建設された、本郷、駒場に次ぐ第3のキャンパスです。

東京大学は、創設以来130年間にわたり伝統的学問分野を深く極めてきた本郷キャンパスと、戦後60年間、複数の学問分野の接点において新たな学際的領域を開拓してきた駒場キャンパスを両極として発展してきましたが、ここに、学問体系の根本的な組み換えをも視野に入れた学融合を志向する柏キャンパスが加わりました。柏キャンパスではこのような「知の冒険」を目指してさまざまな新しい取り組みが行われています。大学院新領域創成科学研究科では「基盤科学系」、「生命科学系」、「環境学系」の3つの分野を中心に、「情報生命科学」を加えた新しい学問領域の創成を目指しています。物性研究所ではエレクトロニクスを始めとして現代の多様な産業を支える様々な物質を根源から解明し、新しい物質の創成を目指しています。宇宙線研究所では宇宙線の研究を通して宇宙や物質の起源に迫ろうとしています。大気海洋研究所では海洋と大気の基礎的研究を推進するとともに、地球表層圏に関する科学の深化を通じた社会貢献を目指します。数物連携宇宙研究機構では数学と物理学の連携により宇宙の根本的な謎の解明に挑んでいます。さらに人工物工学研究センター、空間情報科学研究センター、環境安全研究センター柏支所、柏図書館などが一体となって活動しています。

東京大学は新しい学問分野の創出を果敢に進めていくことによって、世界の学問をリードしていくことを目指しています。この中で、柏キャンパスは重要な役割を担うべく、また国際キャンパスとしての施設も充実させつつ飛躍的な発展を続けています。

■東京大学の概要

創立：明治10年4月(法理文・医)／総長：濱田純一／教育研究組織：10学部、15研究科、11研究所、15全学センター／キャンパス：本郷地区(東京都文京区本郷)：559,176m²
駒場地区(東京都目黒区駒場)：352,213m² 柏地区(千葉県柏市柏の葉)：320,452m² 総面積：326,173,884m² (99%を演習林等が占める)

■柏キャンパスの歴史

東京大学は、千葉県柏市の北部、柏の葉公園などが隣接する敷地を、平成7年度と平成10年度に新キャンパス用地として取得し、平成11年度末に宇宙線研究所、物性研究所が移転してまいりました。その後、平成13年度に大学院新領域創成科学研究科生命科学系、平成15年度に大学院新領域創成科学研究科基盤科学研究系、平成16年度末に気候システム研究センター等4センター、平成17年度末に大学院新領域創成科学研究科環境学系、平成21年度末に海洋研究所がそれぞれ移転し、平成22年度始めに教職員や大学院学生あわせて3100人を超える規模の新しいキャンパスになりました。

[平成11年度末移転]

- 宇宙線研究所(田無キャンパスから)
- 物性研究所(六本木キャンパスから)

[平成13年度移転]

- 大学院新領域創成科学研究科 生命科学系(本郷キャンパスから)

[平成15年度移転]

- 大学院新領域創成科学研究科 基盤科学研究系(本郷キャンパスから)

[平成16年度末移転]

- 人工物工学研究センター(駒場キャンパスから)
- 空間情報科学研究センター(駒場キャンパスから)
- 高温プラズマ研究センター(本郷キャンパスから)
- (平成20年度より大学院新領域創成科学研究科に編入)
- 気候システム研究センター(駒場キャンパスから)
- (平成22年度より大気海洋研究所に統合)

[平成17年度末移転]

- 大学院新領域創成科学研究科 環境学研究系(本郷キャンパスから)

[平成21年度末移転]

- 海洋研究所(中野キャンパスから)
- (平成22年度より大気海洋研究所に統合)

[新設]

- 保健・健康推進本部柏地区(柏保健センター)[平成12年度開所]
- 環境安全研究センター柏支所[平成15年度開所]
- 柏図書館[平成16年度開館]
- 数物連携宇宙研究機構[平成19年度設立]
- 大気海洋研究所[平成22年度設立]

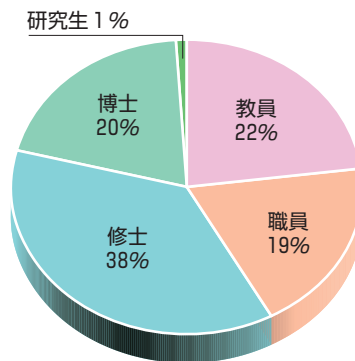


■ 柏キャンパスを構成する人々

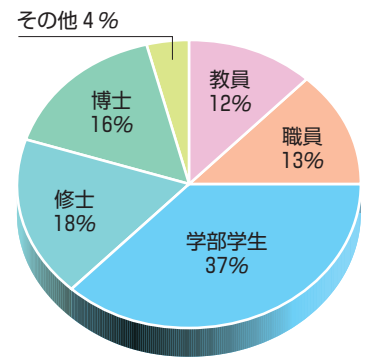
区 分	教 職 員 数				大 学 院 学 生 ・ 研 究 生 数			
	教員	技術職員	事務職員	計	修士	博士	研究生	計
新領域創成科学研究科	291 (35)	35 (35)	152 (121)	478 (191)	989	495	30	1,514
宇 宙 線 研 究 所	57	30 (23)	21 (14)	108 (37)	18	15		33
物 性 研 究 所	125 (2)	62 (25)	54 (42)	241 (69)	38 (40)	37 (13)	1	76 (53)
大 気 海 洋 研 究 所	123 (28)	57 (38)	59 (32)	239 (98)	107 (30)	81 (31)	2	190 (61)
人工物工学研究センター	9 (2)		8 (5)	17 (7)	27	7		34
空間情報科学研究センター	24 (7)	4 (4)	5 (5)	33 (16)	2 (19)	2 (6)	1	5 (25)
領域創成プロジェクト	13 (1)	2 (2)	2 (2)	17 (5)				
数物連携宇宙研究機構	59 (1)	3 (3)	28 (10)	90 (14)				
環境安全研究センター柏支所	2 (1)		1	3 (1)				
海 洋 ア ラ イ ア ン ス	2		1 (1)	3 (1)				
柏 保 健 セ ン タ ー		2	1	3				
柏 図 書 館			9 (2)	9 (2)				
柏地区共通事務センター		7 (4)	41 (16)	48 (20)				
合 計	705 (77)	202 (134)	382 (250)	1,289 (461)	1,181	637	34	1,852

- 注) 1. 教職員数は、平成22年度4月1日現在の現員。〔 〕 数字は内数で、短時間(特定)有期雇用教職員数
 2. 大学院学生・研究生数は、平成22年5月1日現在の現員。() 数字は外数で、新領域創成科学研究科に所属する学生数
 3. 柏地区研究センター支援室の職員数は人工物工学研究センターに掲上。

■ 柏キャンパスの構成員 (3,140名)



■ 東京大学の構成員 (38,500名^(注))



注) 平成22年5月1日現在の概数。短時間有期雇用教職員は含まれていません。グラフの職員には、特任研究員、病院医療系職員等が含まれています。また、「その他」は、専門職学位、研究生等です。

■ 柏キャンパスの経営

柏キャンパスの各部局に共通する学術経営に関する事項を審議、決定する組織として柏キャンパス共同学術経営委員会が設置されています。

〔任 務〕

- (1) 柏キャンパスに所在する部局から委員会に委託された事項
- (2) その他、部局に共通する学術経営に関し必要な事項

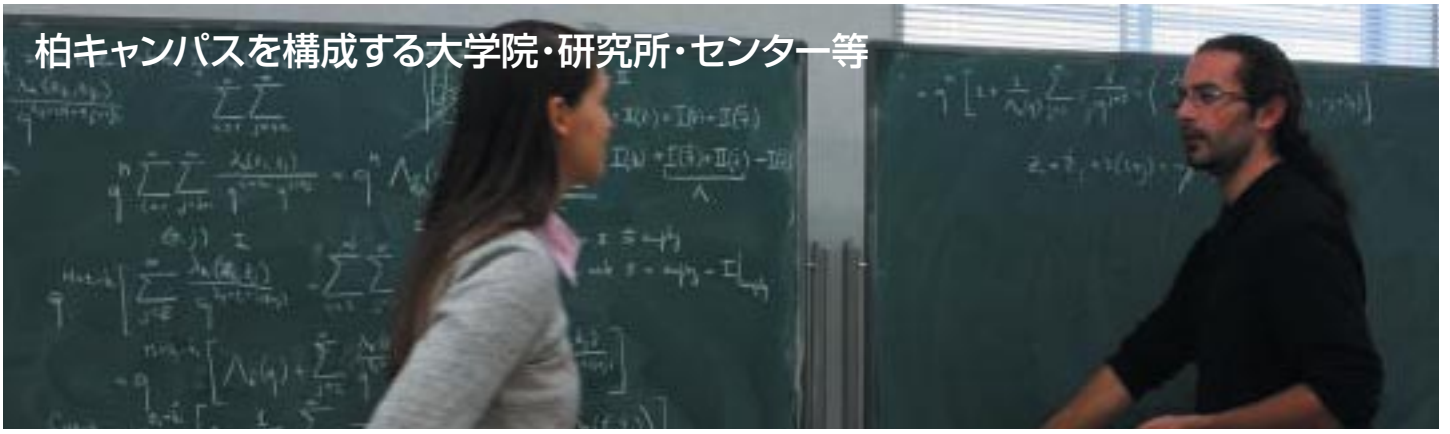
柏キャンパス共同学術経営委員会

柏キャンパス・アメニティ室

柏キャンパス・リエゾン室

柏キャンパス・環境安全管理室

柏キャンパスを構成する大学院・研究所・センター等



■大学院新領域創成科学研究科

「基盤科学系」、「生命科学系」、「環境学系」の3つの分野を中心に、「情報生命科学」を加えた新しい学問領域の創成を目指しています。

- 基盤科学研究系
 - 物質系専攻
 - 先端エネルギー工学専攻
 - 複雑理工学専攻
 - 基盤情報学専攻
(平成20年4月工学系研究科へ移転)
- 生命科学研究系
 - 先端生命科学専攻
 - メディカルゲノム専攻
- 環境学研究系
 - 自然環境学専攻
 - 海洋技術環境学専攻
 - 環境システム学専攻
 - 人間環境学専攻
 - 社会文化環境学専攻
 - 国際協力学専攻
 - サステナビリティ学教育プログラム
- 情報生命科学専攻
- 附属生涯スポーツ健康科学研究センター（柏Ⅱ）
- 附属オーミクス情報センター
- 附属バイオイメージングセンター

■宇宙線研究所（共同利用・共同研究拠点）

宇宙線の研究を通して宇宙や物質の起源に迫ろうとしています。

研究部門

宇宙ニュートリノ研究部門、高エネルギー宇宙線研究部門、宇宙基礎物理学研究部門

附属研究施設

- 乗鞍観測所（岐阜県高山市）
- 明野観測所（山梨県北杜市）
- 神岡宇宙素粒子研究施設
(岐阜県飛騨市神岡町)
- 宇宙ニュートリノ観測情報融合センター

■物性研究所（共同利用・共同研究拠点）

エレクトロニクスを始めとして現代の多様な産業を支える様々な物質の性質を根源から解明し、新しい物質の創成を目指しています。

研究部門

新物質科学研究部門、物性理論研究部門、ナノスケール物性研究部門、極限環境物性研究部門、先端分光研究部門

附属研究施設

- 軌道放射物性研究施設
- 物質設計評価施設
- 中性子科学研究施設
- 国際超強磁場科学研究施設

■大気海洋研究所（共同利用・共同研究拠点）

海洋研究所と気候システム研究センターが統合して2010年4月に発足しました。地球表層の環境、気候変動、生命の進化に重要な役割を有する海洋と大気の基礎的研究を推進するとともに、そうした研究を通して人類と生命圏の存続にとって重要な課題の解決につながる科学的知見を創出します。

研究系

気候システム研究系、海洋地球システム研究系、海洋生命システム研究系

附属研究施設

- 国際沿岸海洋研究センター
- 国際連携研究センター
- 地球表層圏変動研究センター



大気海洋研究所



新領域創成科学研究科・環境棟



新領域創成科学研究科・生命棟



宇宙線研究所



総合研究棟



柏図書館

■人工物工学研究センター

人間・人工物・環境のより良い関係と人工物の新たな価値創成を目指し、ライフサイクル工学、サービス工学、デジタル価値工学、共創工学、価値創成を研究対象とした個別の学問領域にとらわれない研究・教育活動を行っています。

■空間情報科学研究センター

(共同利用・共同研究拠点)

空間情報科学に関する研究を行うと同時に、研究用空間データ基盤を整備・提供することで、全国研究者の利用に供することを目的としています。

■数物連携宇宙研究機構

世界トップレベル国際研究拠点形成促進プログラムに選定され発足しました。現代基礎科学の最重要課題である暗黒エネルギー、暗黒物質、統一理論(超弦理論や量子重力)等の研究を数学、物理学、天文学の連携により進め、宇宙の起源と進化の解明を目指す融合型研究拠点です。

■柏図書館

東京大学3極構造の一角を担う柏キャンパスの中心的図書館として、柏キャンパスの基本理念である「学融合」の実現を学術情報から支援するだけでなく、学融合、知的創造、創造的な情報発信を行う場、研究拠点となることを目指しています。

■環境安全研究センター柏支所

周辺の環境と調和のとれたキャンパスを目指して柏キャンパスの実験廃棄物受入処理業務を行っています。

■保健・健康推進本部柏地区(柏保健センター)

柏キャンパスの学生・教職員の健康管理及び診療を行っています



柏IIキャンパス



新領域創成科学研究科・基盤棟



物性研究所



数物連携宇宙研究機構



柏キャンパスの地域連携、産学連携等

柏キャンパスでは、柏キャンパス構成部局はもとより、地元の千葉県、柏市、流山市、商工会議所等の協力のもと、「地域・社会との交流や知的啓発」事業を推進しています。

また、東京大学では本郷キャンパスに産学連携本部を設置し、大学から産業界への技術移転を推進するための様々な方策が検討されています。大学が所有する知的財産は、広く社会に活かされることを待ち望んでいます。

起業を志す方への技術的相談、起業化に向けた諸問題解決への相談等の道も開かれています。

■サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト (SPP) (講座型学習活動)

大学等と高校との連携により、高校生の科学技術・理科、数学に関する興味・関心と知的探求心等を一層高める機会を充実することを目的とした本事業に、東京大学から独立行政法人科学技術振興機構に申請しています。

千葉県教育委員会のご協力のもと、県内の高校生の希望者を対象に、柏キャンパスの教授陣が最先端の科学研究の内容を直接講義する体験的科学学習を、夏休み期間中2日間にわたり実施しています。

■一般公開

平成13年度から例年10月末の金曜日、土曜日に開催しています。平成21年度一般公開来場者は約5,000名です。

■柏市工業祭への出展

柏市の工業のすぐれた製品を一堂に集め展示・即売等

により市民及び近隣住民に宣伝を図り、柏市工業の振興に寄与する目的で開催される柏市工業祭に出展参加しています。

■一般講演会

柏市並びに柏商工会議所のご協力のもと、一般市民向けにノーベル賞受賞者等を招いた講演会を実施しています。

■東京大学柏図書館友の会

柏図書館には「友の会」があります。図書館の支援、会員相互の交流、地域との連携をめざしています。この目的に賛同なさる方なら、どなたでも入会することができます。ただし、小中高の児童生徒に入会資格はありません。

会員は、柏図書館の開架図書の館外貸出を受けられ、館内1階の施設を利用することができます。また、会員には、上映会やコンサートの案内が郵送されます。

■「東葛テクノプラザ」との連携 大学等研究交流プラザ

企業が新技術・新製品の開発に必要となるテーマについて、大学等の研究者から講演・アドバイスを受ける場である大学等研究交流プラザに講師を派遣しています。

夏休み科学教室

次世代を担う子供たちの科学的視野を養成するとともに、モノづくりの大切さ・楽しさを伝える事を目的として毎年講師を派遣しています。





■大学連携型企業家育成施設

「東大柏ベンチャープラザ」との連携

中小企業基盤整備機構（旧：地域振興整備団）により、新事業創出促進法に基づき設置された施設です。新製品・新技術の研究開発や新分野への進出を目指す、中・小ベンチャー企業を支援しています。東京大学も積極的に支援を受けています。入所企業の約2分の1が東京大学の研究成果に関連しています。

■地域との研究交流事業

大学コンソーシアム柏

柏市内および近隣の知的資源を生かしたまちづくりを一層推進し、大学とまちがともに成長しながら魅力を多様に高めていくため、大学コンソーシアム柏を設立し、3つの分科会（「国際化」、「手賀沼」、「学びと実践」）を立ち上げ積極的に活動しています。

柏の葉アーバンデザインセンター(UDCK)

柏の葉キャンパス駅前に設置された柏の葉アーバン

デザインセンターに参画し、大学から研究成果やアイデアなどを発信しています。平成20年には「柏の葉国際キャンパスタウン構想」を千葉県や柏市、千葉大学との共同研究として策定しました。

UDCKは、構想の実現にむけて継続的な調査や社会実験を進めており、大学と地域や行政、企業との「公民学連携」の拠点となっています。



国際交流活動

国際キャンパスを謳う柏キャンパスでは、国際研究拠点の形成・発展のために、その中核となる大型研究施設や研究交流施設を整備し、研究者の交流を通じた研究の発展と学習知の集積の実現を目指しています。

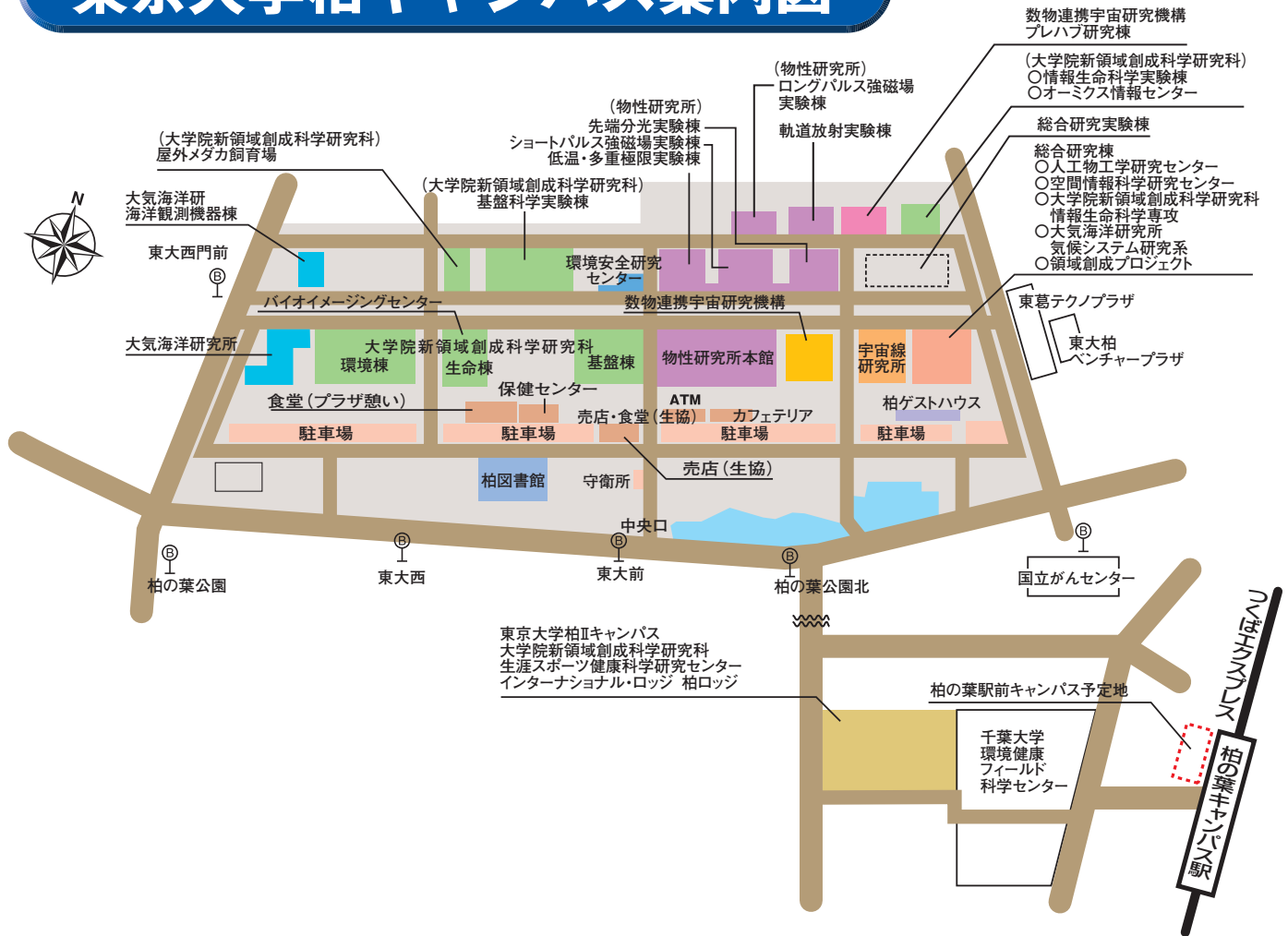
柏キャンパス内にある国際センター柏オフィス(柏インターナショナルオフィス)では、各部局の国際交流室と緊密に連携しながら、留学生や外国人研究者の来日手続きに関わる相談や生活情報提供、地域連携窓口など

のサービスを提供し、安心して快適なキャンパス生活を送るための様々な支援を行っています。

また、柏IIキャンパスには、留学生や外国人研究者のための宿泊施設として、インターナショナルロッジ 柏ロッジが新設されました。このように、世界各国の学生や研究者たちが、学住一体の中で共に集い、学び、交流し合うことのできる国際的学際村を目指したキャンパス計画が進められています。



東京大学柏キャンパス案内図



柏地区キャンパスへの経路

- 柏の葉キャンパス駅西口(つくばエクスプレス線)より
 - <東武バス利用>西柏03柏の葉キャンパス駅行(税関先回り循環又は、柏の葉公園中央先回り循環)→「東大前、東大西」下車/西柏04江戸川台駅東口行→「東大前、東大西」下車/西柏10江戸川台駅東口行(みどり台中央経由)→「東大前、東大西、東大西門前」
 - <徒歩>約25分
- 柏駅西口(JR常磐線、東京メトロ千代田線)より
 - <東武バス利用>西柏01国立がんセンター行(柏の葉公園経由)→「東大西、東大前」下車/柏44国立がんセンター行(税関研修所経由)→「国立がんセンター」下車
- 江戸川台駅東口(東武野田線)より
 - <東武バス利用>西柏04柏の葉キャンパス駅西口行→「東大西、東大前」下車/西柏10柏の葉キャンパス駅西口行(みどり台中央経由)→「東大西門前、東大西、東大前」下車
 - <徒歩>約30分
- 常磐自動車道 柏IC
 - 千葉方面出口から国道16号線へ500m先「十余二工業団地入口」交差点を右折

